

JForest

森林組合だより

令和3年1月1日
発行
第132号

▶▶ 令和3年 新年号 ◀◀



謹んで初春の
お慶びを申し上げます



本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

第64回 秋田県森林組合大会



令和2年11月6日（金）「秋田テルサ」（秋田市御所野）において、第64回秋田県森林組合大会が開催されました。

県内12組合の役員員の他、秋田県知事、東北森林管理局長、秋田県議会議長、農林中央金庫秋田支店長、森林・林業・林産活性化推進議員の会長等が御来賓のほか、多くの林業関係者が出席しました。

大会は県森連副会長を務める小松組合長の宣言で開会し、佐藤重芳県森連会長の挨拶に続き、御来賓のご祝辞と祝電が披露されました。大会では、森林資源の循環利用の推進とコロナ禍の経済的影響からの回復、森林経営管理制度の推進及び林業業界一丸となった再造林運動の展開に取り組むことを誓いました。



再造林推進優秀組合として表彰を受ける、佐々木副組合長

- ◆ 再造林推進優秀組合
（今年度より新設され、当組合が初受賞）
秋田県知事賞
本荘由利森林組合
- ◆ 林業功労者
秋田県森林組合連合会会長賞
岡 見 晃 一（大内）
- ◆ 役員永年功労者
秋田県森林組合連合会会長賞
【15年表彰】
伊 藤 修 二（岩城）
- ◆ 優良現場技能者
秋田県森林組合連合会会長賞
小 松 卓 哉（造林課）



令和2年11月6日
第64回秋田県森林組合大会

【決議】

これまで森林組合系統は、森林所有者の経済的利益の向上や地域社会の活力創造をめざした運動方針「森林・林業・山村未来創造運動」次代へ森を活かして地域を創るを展開しているが、この度の改正森林組合法を踏まえ、一丸となって次期系統運動方針を策定し、その取組を実施していく。

引き続き、県内3万人の組合員と一体となり、再造林の推進による資源の循環利用と適切な経営管理の推進、人材の確保・育成等により、「林業の成長産業化」を実現するため、森林・林業の諸課題に取り組む決意である。

本日ここに、秋田県、東北森林管理局、秋田県市長会、秋田県町村会、農林中央金庫秋田支店の後援のもと、第64回秋田県森林組合大会を開催し、次の事項の実現に森林組合系統の総力をあげて邁進するものである。

- 一、森林資源の循環利用の推進とコロナ禍の経済的影響からの回復
- 二、森林経営管理制度の推進
- 三、林業業界一丸となった再造林運動の展開

以上決議する。

本荘由利森林組合林業研究会 森林環境譲与税及び森林経営管理制度勉強会



森林・林業活性化及び森林の保全対策として、新たな施策「森林環境譲与税」と「森林経営管理制度」が平成31年4月1日よりスタートして、早2年が経とうとしております。

しかしながら、森林所有者及び市民の方々には、未だに浸透していないというのが現状です。

当事者として、知らないままにはしておけないということで、当研究会で勉強会を企画し、多数の会員の皆様にご参加いただきました。

講師には、秋田県由利地域振興局農林部森づくり推進課課長の永井秀樹氏をお招きし、それぞれの制度についての詳細や取り組みについて、ご説明いただきました。

昨今、森林・林業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、平成27年9月に国連サミットで示された、SDGs(エスディージーズ)という持続可能な開発目標の中にも「持続可能な森林経営」が謳われています。つまり、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環システムの構築や再造林の

促進が世界的にも必要不可欠な取り組みとなってきました。

本県はスギ人工林の面積が全国一を誇る一方、再造林率が2割前後と低い水準となっております。国内全体としても、3割弱というところで、全国的にも再造林拡大のための取り組みが急務となっております。

こういった制度創設の背景から進捗状況について、秋田県内、特に由利本荘市、にかほ市に焦点を当てて、具体的な数字を示していただけたことで、制度を理解する上での大きな助力となったのではないかと感じております。

講義終了後には、会員の皆様から多数のご質問がありましたので、その一部をご紹介します。



Q 制度の周知徹底のためにどういったことを行っているのか。

A 市が主催し、各地区で座談会等を行っていますが、そういった制度説明の機会を増やすべきだと思います。

Q 管理を委託した場合の契約期間は決まっていますか。

A 各市町村で取り決められています。由利本荘市の場合は、8年間としているようですが、期間満了後に再契約することもできます。

Q 委託期間中に発生した利益は、どのような形で所有者に還元されるのですか。

A あくまでも林業経営に適した山林の場合となりますが、その契約期間中に発生した利益はすぐに所有者に還元されるわけではなく、契約満了時に残った利益が所有者に還元されるという形になります。

Q 自分の地区はまだ意向調査が実施されていないのですが、その前に委託契約をすることはできないのか。

A 申し出制度もあるため、意向調査を行う前でも、市町村に直接依頼することができます。

Q 各市町村の森林面積等で譲与額が決まるようですが、地籍調査はどれくらい進んでいるのですか。

A 由利本荘市では全体の4割程度です。地籍調査が行われていない森林の境界を明確化する場合は、譲与税を活用することもできます。

Q 森林環境譲与税で市道の拡幅等ができるのでしょうか。

A 市道整備は基本的には各市町村の管理費で対応することになります。森林整備の一環として市議会で承認されれば、譲与税を充当できます。

Q 委託契約を結ぶ際に、所有者が委託費用等を負担することはあるのか。

A 森林環境譲与税を財源とするため、所有者の負担はありません。

Q 法人の形態をとって林業に関する仕事をしているのですが、この制度に関する事業に携わることにはできませんか。

A 林業経営に適した山林は、制度上、認定された林業事業体にしか委託できませんが、林業経営に適さない、市町村自ら管理を行う山については、市町村の判断で認定事業体以外に委託することも可能です。



第26回 労働安全衛生大会

第26回労働安全衛生大会が12月11日（金）に本荘グラントホテルを会場に開催されました。毎年開催されるこの大会は、安全に対する意識を高めるために、職員・技能班を対象に開かれています。

例年は6、7月頃に実施しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となり、この時期の開催となりました。

安全講話を行い、優良運転者への表彰、代表職員による安全宣言を行って、労働災害ゼロを誓いました。

安全講話では、由利森林管理署署長の米澤実氏を講師としてお招きし、「災害事例から学ぶ安全作業について」と題して、ご講演いただきました。



～ 優良運転者表彰 ～

■無事故無違反

- 25年 阿部 正輝（林販課職員）
- 阿部 清（林販課技能職員）
- 20年 阿部 久（林販課職員）
- 古川 暢（東由利支所職員）
- 渡邊 正明（林販課技能職員）
- 15年 遠藤 佳苗（林販課職員）
- 高橋 敦（加工課技能職員）
- 10年 齋藤 肇（加工課技能職員）



【大会宣言】 林産班 佐藤 嘉一

私達は、安全管理の重要性及び労働災害防止活動を確認し、本大会の開催を契機に無事故・無災害の決意を新たに、災害防止対策を全力で取り組む事をここに宣言致します。

エイジフレンドリー職場へ
みんなで改善 リスクの低減



林業大学校生インターンシップ

11月4日（水）～27日（金）の約1ヶ月間、秋田林業大学校の生徒1名がインターンシップ研修を行いました。

現場写真の撮影や毎木調査等、主に造林課の業務を行っていたのですが、学校で様々な研修を受けてきたものの、実際の山での作業は慣れないので、伐根に足を引っかけたようでした。学校で学んだことが現場で活かせるようになりたいです。

いくつか事務作業も体験していただきましたが、普段学校では行わないことなので、新鮮さを感じるとともに、想像していたものとは違った難しさ・大変さを実感でき、いい勉強になったとの感想を述べていました。

現場作業時には、山の中では一人では行動しないこと、ヘルメット等の安全器具は必ず身に付け、持ち物は常に確認すること、雪が降り始める時期ということ等、林業防犯対策を行うこと等、林業

に従事する上での遵守事項を教わり、期間中は大きなケガや事故はありませんでしたが、作業中実際に雪が降ってくるなど、安全衛生対策が非常に重要だということを理解していただけたかと思えます。

業務の中では、職員及び業者間の連携が大切になってくるため、積極的にコミュニケーションをとって親睦を深めることも大事な仕事の一部なので、施業に関する技術だけではなく、そういったことも意識して今後の研修に臨んでいただければと思います。

指導に当たった職員からは、それぞれの現場に興味を持って、楽しんで仕事をしている姿が印象的だったとのことでした。今回参加された生徒は、まだ1年生ということで、卒業は来年度となりますが、この経験を基に成長した姿で、また一緒に働ける日を待ち望んでおります。



木材市況情報 (令和2年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

			12月2日		
樹種	材長 m	径級 cm	本荘由利木材流通センター		
			高 値	安 値	平均価格
スギ	3.65	14下	/		
		16~22	(3,055) 11,001	(3,003) 10,812	(3,021) 10,879
		24~34	(3,700) 13,320	(3,195) 11,503	(3,338) 12,017
出材量・販売量・販売率			539m ³ (1,940石)・539m ³ (1,940石)・100%		
12月：16~22cmの巻き立てが人気で10,800円から11,000円での取引となり、強含み。枚数も6枚も集めた。全般に各製材所の原木不足が顕著になってきた。					

今後の行事予定について

新型コロナウイルス第3波の発生に伴い、今後の行事開催について下記のとおり決定いたしました。皆様の安全・安心を何よりも優先してのことでございますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

●令和2年度地区座談会

例年2月上旬に開催しております地区座談会は、今年度の開催は中止とさせていただきます。

●第26回本荘由利森林組合造林コンクール表彰授与式・林業講演会

例年2月中旬に開催しております造林コンクール表彰授与式及び林業講演会は、今年度の開催は中止とさせていただきます。

なお、表彰授与に関しては、受賞者に別途ご案内させていただきますので、ご了承ください。

年末年始休業のお知らせ

12月31日(木)~1月5日(火)

1月6日(水)より通常営業となります。

●仁賀保支所について

にかほ市役所金浦庁舎が年末休業となるため、仁賀保支所職員は29、30日は木材流通センターにて勤務しております。御用の方はこちらまでお問い合わせください。